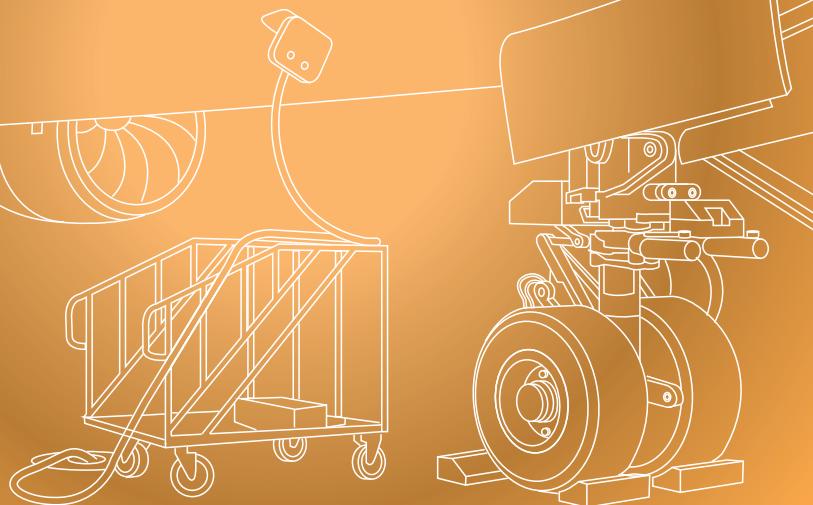
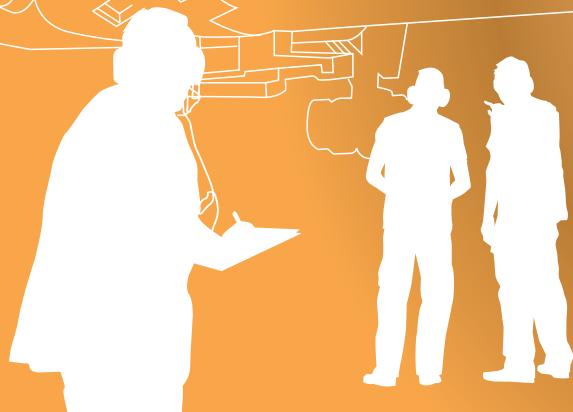


空を想い、技術を極め、環境社会を創る

IR HANDBOOK

第58期 第2四半期のご報告

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日 | 銘柄コード：9377





代表取締役社長
大貫 哲也

2023年3月期第2四半期の経営成績

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、国内航空需要の回復が加速しました。国際線需要も中国のゼロコロナ政策の影響があるものの、日本政府による出入国の水際対策が段階的に緩和され回復がみられています。

一方で円安進行やロシア・ウクライナ情勢等の影響による原材料価格およびエネルギー価格の上昇傾向が当社グループにも影響しました。

このような状況における当社業績は、全てのセグメントで増収となり、売上高合計は51億85百万円と前年同期比5億25百万円（11.3%）の増収となりました。

損益については、増収に伴う電力使用量の増加及び電力料金単価の上昇に伴い原材料費は増加しましたが、業務効率化

やコスト削減等を継続し、営業利益は5百万円（前年同期 営業損失87百万円）、経常損失は0百万円（前年同期 経常利益16百万円）、固定資産除却損の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は63百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円）となりました。

今後も引き続き、一層の収支改善を目指して参ります。

今後の見通し

当第2四半期連結累計期間におきましては、当初予想を上回る順調な進捗となっておりますが、原材料価格の高騰等による不透明感が続いていることから、2022年5月9日に発表しました通期業績予想を変更しておりません。

中間配当

当社は、中期経営計画（2022-2025年度）にて、株主還元の実を促す施策として、株主還元方針の変更を行い、「持続的な成長により、1株当たりの利益（EPS）を増大させることをもって株主価値向上を図るとともに、株主の皆様への還元をこれまで以上に充実させるために、配当および自己株式取得に積極的に取り組み、本中期経営計画期間である4年間の総還元性向100%以上を目指します」としております。

本方針のもと、業績や財務状況等を総合的に勘案し、中間配当を1株当たり5円とすることとしました。また、期末配当予想を5円増配し1株当たり10円、年間配当予想を1株当たり15円とさせていただくこととしました。

国産初となる航空機用バッテリー駆動式GPUの開発

開発目的と背景

当社は創業以来57年間、「航空内の電気インフラ事業者」としてその地位を固めてきました。主力事業である「動力供給事業」は、航空機用動力として電力・冷暖房機・圧搾空気をGPU（地上動力設備）にて供給しております。GPUは航空機搭載のAPU（Auxiliary Power Unit 航空機補助動力装置）に比較し、CO₂排出量は1/10以下というCO₂削減効果のメリットがございます。

現在、主要空港において「地下埋設方式」のGPU設備を設置し、ユーザーの皆様にご利用いただいておりますが、地下埋設方式の無い駐機場においては、小型トラックの荷台に軽油を使用したディーゼル式発電機を積んだ、移動式のGPUを用いて、電気を航空機に供給する仕組みとなっております。

空港分野におけるCO₂削減に貢献できるよう、再生可能エネルギーにて充電し、航空機に供給する仕組みが必要であろうと考え、より環境負荷を軽減できる「バッテリー駆動式GPU」の開発に至りました。



製品概要

製品名

バッテリー駆動式GPU

製品特長

- 国産初であり、高品質で信頼性も高い
- 小型軽量で、効率的な運用が可能
- パワーアシスト機能により取り回しが可能

スペック／サイズ／重量

定格出力	三相4線式 115/200V 400Hz 90kVA
寸法	縦 2,745mm × 横 1,480mm × 高さ 1,620mm (けん引バーを含む)
重量	2,200kg以下

用途

駐機中の航空機向け電力供給

動力供給事業

売上高 2,102百万円 売上高構成比 40.5%

事業概況

航空機が必要とする電力・冷暖房・圧搾空気の供給および、航空機用動力供給設備の設計・施工、運用管理等を行っています。

整備保守事業

売上高 1,093百万円 売上高構成比 21.1%

事業概況

旅客搭乗橋設備や手荷物搬送設備など、空港内の特殊機械設備の整備・保守管理を行っています。

施設保守事業

売上高 790百万円 売上高構成比 15.3%

事業概況

航空機格納庫や排水処理施設、特高変電所、ホテルなど空港内外の諸施設の整備・保守管理を行っています。

ビジネスジェット支援事業

売上高 131百万円 売上高構成比 2.5%

事業概況

ビジネスジェット専用格納庫で、駐機サービスやクリーニングサービス等を行っています。

セキュリティ保守事業

売上高 289百万円 売上高構成比 5.6%

事業概況

X線検査装置、金属探知器、爆発物検知装置、液体物検査装置など空港内外セキュリティ機器の整備・保守管理業務を行っています。

物流保守サービス事業

売上高 315百万円 売上高構成比 6.1%

事業概況

空港内の手荷物搬送設備の整備・保守管理の技術力を活かし、空港外の物流関連設備の整備・保守管理を行っています。

フードシステム販売事業

売上高 125百万円 売上高構成比 2.4%

事業概況

機内食カートのノウハウを活かした新しいフードカートの開発および製作、販売を行っています。

GSE等販売事業

売上高 200百万円 売上高構成比 3.9%

事業概況

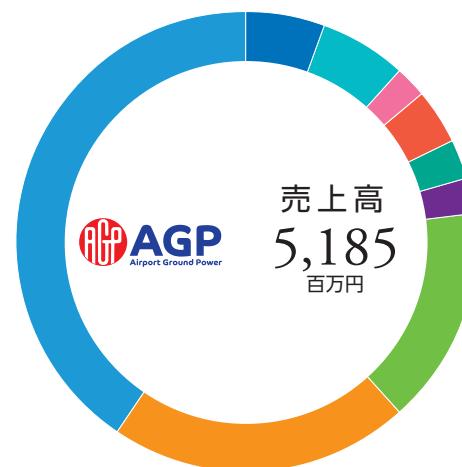
航空機運用の安全性や定時性の確保に寄与する、航空機地上支援機材の開発製作・販売、海外製航空機地上支援機材の輸入代理店を行っています。

電力販売事業

売上高 137百万円 売上高構成比 2.6%

事業概況

工場等への高圧電気や一般家庭用の低圧電気の供給を行っています。



AGP

Airport Ground Power

売上高
5,185
百万円

会社概要

商号 株式会社エージーピー
AGP CORPORATION

本社 〒144-0041
東京都大田区羽田空港一丁目7番1号
TEL. 03-3747-1631
FAX. 03-3747-0707
E-mail: info@agpgroup.co.jp

最寄駅 東京モノレール羽田線 整備場駅 下車3分

設立 1965年12月16日/
日本空港動力株式会社設立
2000年9月1日/
株式会社エージーピーに商号変更

資本金 20億3,875万円

社員数 666名(連結) / 616名(個別)

会計監査人 太陽有限責任監査法人

役員

代表取締役 社長執行役員 大 貫 哲 也
取締役 専務執行役員 阿 南 優 樹
取締役 常務執行役員 山 田 康 成
取締役 常務執行役員 山 崎 有 浩
取締役 常務執行役員 杉 田 武 久
取締役 常務執行役員 平 岡 正 明
社外取締役 佐々木 かをり*
社外取締役 阿 南 剛*
常勤監査役 大 島 康 典
社外監査役 徳 武 大 介
社外監査役 浜 出 真

* 東京証券取引所の定めに基づく独立役員

エージーピーグループ

株式会社エージーピー沖縄
株式会社エージーピー中部
Airport Ground Power(Thailand) Co.,Ltd
株式会社A/リーフ (持分法適用会社)
Smart Airport Systems Japan株式会社 (持分法適用会社)

ネットワーク

本社 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号
TEL.03-3747-1631 FAX.03-3747-0707

成田支社 千葉県成田市古込1-1
(成田国際空港第1旅客ターミナル北オフィビル内)
TEL.0476-32-8775 FAX.0476-32-4904

羽田支社 東京都大田区羽田空港三丁目1番2号
TEL.03-5757-9447 FAX.03-5757-9191

関西支社 大阪府泉南市泉州空港南1番地
(日本航空輸出貨物ターミナル)
TEL.072-456-6101 FAX.072-456-6107

千歳空港支店 北海道千歳市美々(新千歳空港内)
TEL.0123-46-5858 FAX.0123-24-9213

中部空港支店 愛知県常滑市セントレア一丁目1番地
(中部国際空港内)
TEL.0569-38-0286 FAX.0569-38-8165

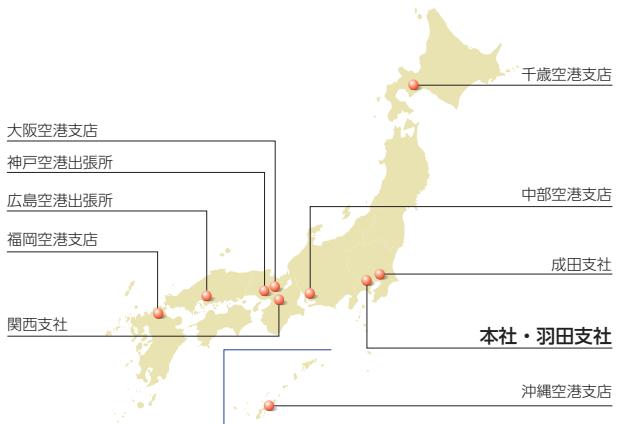
大阪空港支店 大阪府豊中市蛍池西町三丁目555番地
(大阪国際空港内)
TEL.06-6856-7326 FAX.06-6855-9490

神戸空港出張所 兵庫県神戸市中央区神戸空港1番
TEL.06-6856-7326 FAX.06-6855-9490

福岡空港支店 福岡県福岡市博多区上臼井柳井348番地
(福岡空港内)
TEL.092-621-9124 FAX.092-629-1974

広島空港出張所 広島県三原市本郷町善入寺64番31(広島空港内)
TEL.0848-60-8311

沖縄空港支店 沖縄県那覇市鏡水150番地(那覇空港内)
TEL.098-858-0291 FAX.098-859-4229



株式の状況

発行可能株式総数 52,000,000株

発行済株式総数 13,950,000株

株主数 1,564名

単元株式数 100株

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本航空株式会社	4,651,000	33.35
日本空港ビルディング株式会社	3,740,000	26.81
ANAホールディングス株式会社	2,793,000	20.02
エージーピー社員持株会	290,723	2.08
STIFEL, NICHOLAUS + COMPANY, INCORPORATED	118,920	0.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	101,600	0.73
MSIP CLIENT SECURITIES	92,300	0.66

* 持株比率については、自己株式(2,135株)を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

公告方法 電子公告

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

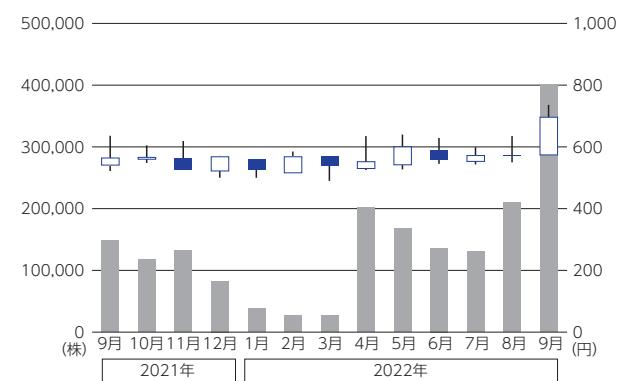
郵便物送付先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(電話照会先)

株式の分布状況

■ その他国内法人 20名 11,438,900株 82.00%
■ 個人・その他 1,502名 2,035,293株 14.59%
■ 外国人 18名 266,105株 1.91% ■ 証券会社 20名 93,667株 0.67%
■ 金融機関 3名 113,900株 0.82% ■ 自己名義株式 1名 2,135株 0.01%

株価および株式売買高の推移(月足)



ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行本支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

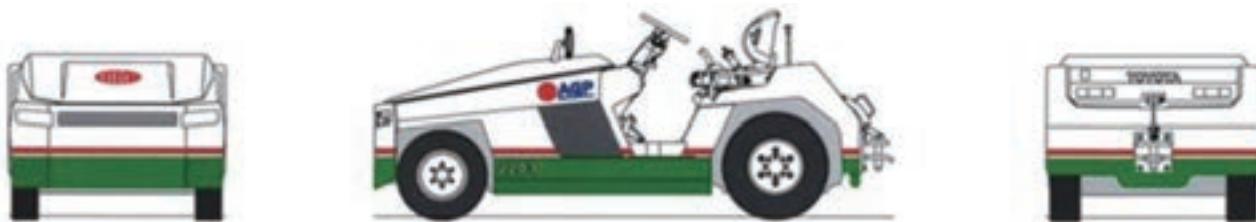
新たな環境事業への取組み

● 高松空港に電動トーイングトラクター（EV）の実証事業を開始

国土交通省が推し進めている空港の脱炭素化実現に向けて、高松空港をモデル空港として、高松空港株式会社および本邦航空会社2社の協力のもと、航空機地上支援機材（GSE）である電動トーイングトラクター（EV）1台導入と充電設備2か所を設置し、空港内車両のEV化と共同使用の実証事業に着手します。

航空機地上支援機材（GSE）をディーゼル車からEVへ置き換えることにより、車両からのCO₂排出量削減の効果や充電環境の整備、実装に向けたノウハウを蓄積し、空港内車両の省エネ化を推進します。

本実証事業については「令和4年度空港脱炭素化推進事業費補助金」に採択されました。



空港外領域への取組み

● クルーズ船入港対応伸縮通路（PBR[®]）の受注



今般、自治体港湾さまは、港へのクルーズ船の乗降に対応できる設備導入をご検討され、自治体港湾様から、港湾用の『伸縮通路（Passenger Boarding Roof[®]：PBR[®]）』を受注いたしました。

現在、クルーズ船の乗降に対応できるように製作を行っています。

今後も空港インフラに加えて、空港以外でのインフラ利便性向上に向けた貢献を目指して取組んでいきます。

※ 伸縮通路（PBR[®]）：搭乗橋未設置スポットでの航空機乗降の際、安全・安心・快適を目的に開発した製品

株式会社 エージーピー

〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号
TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707
URL: <http://www.agpgroup.co.jp/> E-mail : info@agpgroup.co.jp



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

